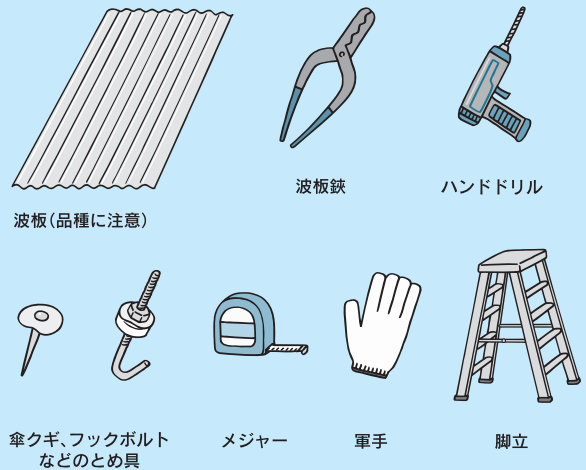


## 取扱いのしおり

**JIS (日本工業規格) 認証**  
 JIS K 6735 (ポリカタフ)  
 JIS A 5702 (塩ビナミイタ ガラスネット ガラスクリア)

### ▶ 取付手順

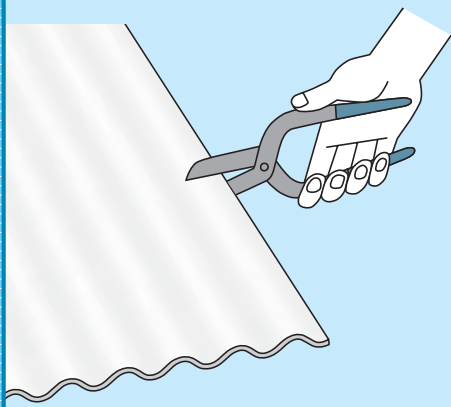
#### ● 用意するもの



⚠ 脚立にのるときは、足場が安定している事確かめ、他の人に支えてもらうなど安全には十分気をつけましょう。

### 1 ▶▶ 波板の切断

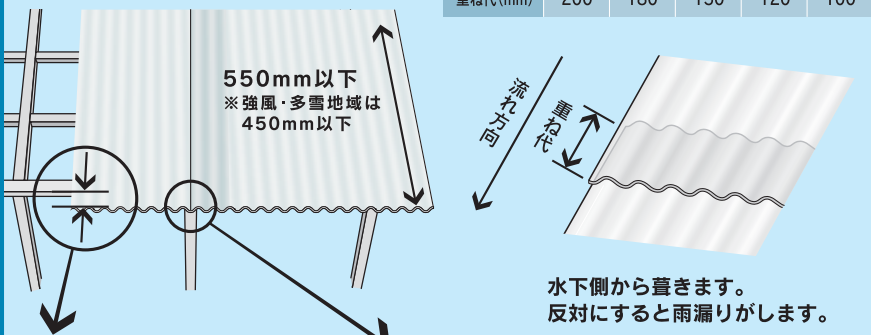
切断は鉄ノコギリ、波板鉋、などで行います。曲線状に切る時は糸ノコギリなどを使用します。  
 (注) 寒冷時の穴あけや切断は特にていねいに行ってください。



### 2 ▶▶ 位置ぎめ

流れ方向の重ね

勾配	2/10	2.5/10	3/10	4/10	5/10
重ね代(mm)	200	180	150	120	100

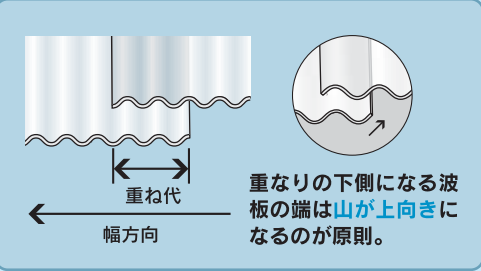


軒先の出幅は100mm以下に (風圧・雪害を防止する為)

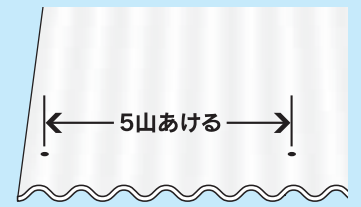
幅方向の重ね

波形	32波 (鉄板小波)
重ね代 (山)	2.5山以上
有効幅	約575mm

● 重ね代は必ず固定して下さい。



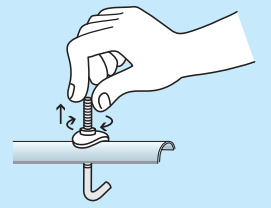
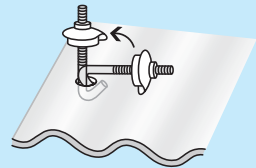
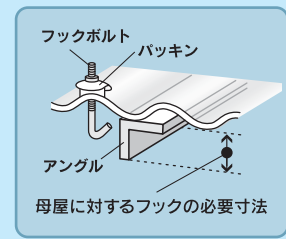
### 3 ▶▶ 穴あけ



穴あけはハンドドリル等を用い、とめ具より2~3mm程度大きめにあける。

(注) 穴は、かならず山にあける。  
 施工前に穴あけ位置に目印をつけ、波板を裏返して、谷に穴をあけると滑りにくく、安全です。

### 4 ▶▶ 固定のしかた (フックボルト使用の場合)



⚠ 注意  
 ● フックボルトの締付はワッシャーが少し押しつぶされるくらいが良く、完全につぶれる程締めすぎないようにして下さい。  
 ● 重ね代には必ずとめ具でとめて下さい。

## ShinEtsu 信越ポリマー株式会社

建設材料事業部  
 〒331-9510 埼玉県さいたま市北区吉野町1-406-1 TEL:048-652-6287

大阪支店: 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-29 テラサキ第2ビル TEL:06-6350-1121

名古屋支店: 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-16-22 名古屋グイヤビルディング1号館 TEL:052-581-4231

福岡支店: 〒812-0024 福岡市博多区綱場町2-2 福岡第一ビル TEL:092-281-4666

仙台営業所: 〒981-0021 仙台市青葉区中央2-10-12 仙台マルセンビル TEL:022-264-1366

□ ホームページ <http://www.shinpoly.co.jp/>

# 用途で選べる多彩な品種と、 スペースに合わせた豊富な サイズバリエーション

気持ちよく晴れた日には、  
光をいっぱい浴びたテラスでお茶を飲みたい。  
カーポートも一つの空間として見直したい…。  
暮らしに、産業に、シンエツナミイタは、  
新しいエクステリア空間を提案します。



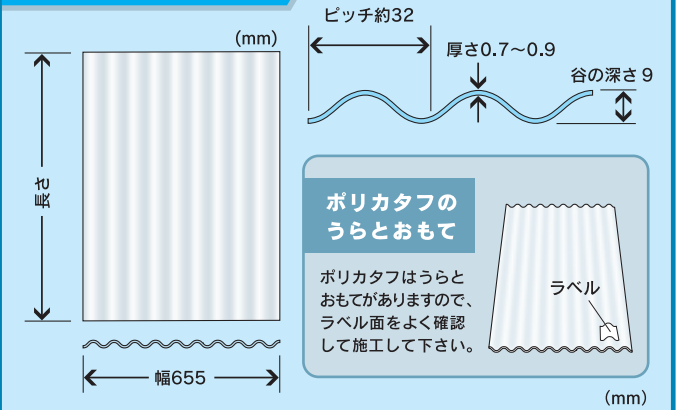
## 波板の選び方

- ポリカタフ [耐候性、耐衝撃性、採光性] —— 耐候性、耐衝撃性に優れた波板。
- 塩ビナミイタ [スタンダード] —— 最も一般的な、汎用タイプの波板。
- ガラスネット [ファッショナブル] —— 耐荷重性に優れた波板。
- ガラスクリア [採光性] —— 塩ビ系の中で、透明性に優れた波板。

▶ 適材適所でお選びください。

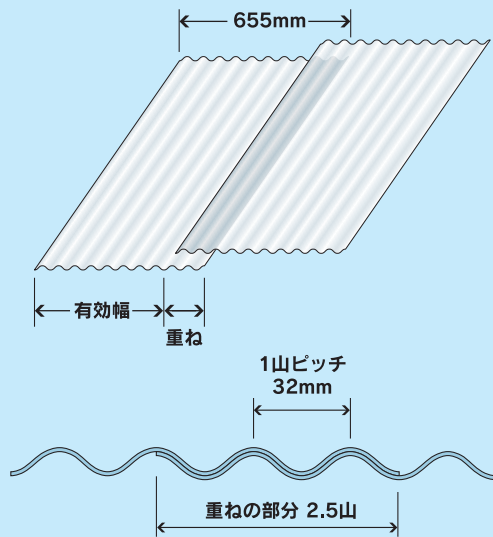
品 種	樹 脂	採 光 用				仮 設 ・ 簡 易 建 築 物					目 隠 し	耐 衝 撃 強 度 (当 社 比)
		一 般 住 宅 探 査 の 用	テ ラ ス	サ ン ル ーム	積 雪 雪 囲 の い	カーポート 開放型	カーポート 密閉型	物置(開放型)	バ ス 停	ゴ ー ル フ 練 習 場		
ポ リ カ タ フ	ポ リ カ ー ポ ネ ー ト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
塩 ビ ナ ミ イ タ	ポ リ 塩 化 ビ ニ ル	○	○			○			○	○	○	○
ガ ラ ス ネ ッ ト		○	○			○			○		○	○
ガ ラ ス ク リ ア		○	○		○	○			○			○

## 波板の規格



品 種	厚 さ	谷 深 さ	幅	ピ ッ チ	長 さ (尺/mm)
ポ リ カ タ フ	0.7	9	655	約32	3/910
					4/1220
塩 ビ ナ ミ イ タ	0.8				5/1520
					6/1820
ガ ラ ス ネ ッ ト	0.9				7/2120
					8/2420
ガ ラ ス ク リ ア	0.8				9/2730
					10/3030

## 必要枚数の計算方法



(例)

1間(1800mm)の場合に必要な枚数は、

波板の重ねの部分は  
2.5山以上ですので、

655(幅)ー約80(2.5山分)  
=575(有効幅)mm

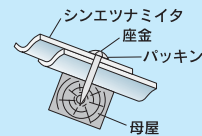
但し、端の1枚は  
655mmとなりますので、

1800 - 655 = 1145mm  
1145 ÷ 575 = 1.99枚で

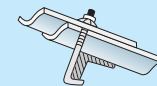
端の1枚、2(1.99)枚と合わせて  
計3枚必要です。

## とめ具の種類

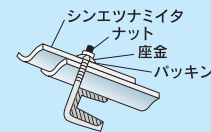
### ① 木母屋打込釘使用



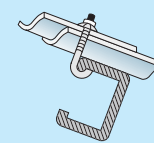
### ② 鉄骨フックボルト使用



### ③ 鉄骨チャンネルボルト使用



### ④ フックボルトおよび座金使用



### とめ具の必要本数

一般的に、とめ具は鉄板小波  
1枚(655mm幅/20.5山)で  
幅方向に対し4カ所とめます。  
(とめ具の間は5山あける。)

波板の複数枚使用する場合は、  
重ね部を考慮します。

幅方向本数=波板必要枚数×3+1  
全体本数=幅方向本数×母屋数

[強風地域において]  
軒先の出幅を抑え、樋側だけを4山あけて施工  
すれば、風によるばたつきをある程度防げます。

## ⚠ 施工時における注意事項

●施工時の際、波板に乗る場合は破損転落に十分注意下さい。●直射日光下で重ねたままの在庫、仮置きなどは変形の原因になりますので避けて下さい。特に夜露、雨水が波板の間に入った場合には、変形・変色が起こりやすくなります。●寒冷時の穴あけや切断はカケ・ワレを生じることがありますので特に注意に行ってください。また釘打施工はカケ、ワレが発生することもあり、特に寒冷時には避けてください。●多雪地域では、母屋間隔は小さくして下さい。特に風の強いところでは、先端部を下から押え縁で押えて下さい。●波板は、温度変化により伸縮しますので、波板の端部に伸びを妨げるような施工は避けて下さい。

## ⚠ 注意事項

●雪おろし等で波板の上に乗る際は、ふみ板等を用いて十分安全を確保して下さい。●密閉状態の場所では、内部温度の上昇をさけるため、通気口などを設けて下さい。高温や高温多湿下では、波崩れや劣化が促進されることがあります。●シンナーなどの有機溶媒やカセイソーダなどのアルカリ性薬品、また、強い酸性薬品は透明感を失わせたりヒビの入る原因となりますので避けて下さい。●できる限りシーリング材の使用は避けて下さい。伸縮の妨げとなります。

母屋(木材、鉄骨チャンネル、パイプ等)には直射日光による蓄熱を避けるため  
できる限り白系統の色で塗装して下さい。

### [母屋間隔]

母屋間隔は550mm以下で施工して下さい。

地 域	受 材 間 隔
一 般 地 域	5 5 0 m m 以下
強 風 多 雪 地 域	4 5 0 m m 以下